

Birth Racing Project

ツインリンクもてぎ



STC
 SUN'S CREATE Co., Ltd.
 A2 TECHNICA
 印風房
 玉ねぎ
 AOBA Driving School
 VERVE
 StarFive Motor Racing Store
 R'S DESIGN MOTORSPORTS

MSTASHI
 M's Auto Mobile Service
 SUN'S CREATE Co., Ltd.
 OFFICE SUPPORT
 アーバースホール
 3P RACING GEAR PRINT SERVICE
 PLAT2
 PROTEX

2019 SuperTaikyu Rd5

総エントリー台数：52台
クラス：ST-TCR 参加台数：10台
チーム名：Birth Racing Project
ドライバー：Aドライバー・太田 祐弥
 Bドライバー・松本 武士
 Cドライバー・篠原 拓朗

予選結果： AB合算：クラス7位
 C：クラス1位

決勝結果：4位

サーキット：ツインリンクもてぎ

| | | |
|-------|--------|-----------------------|
| 9月12日 | 練習走行 | 180分 |
| 9月13日 | 練習走行 | 60分+140分 |
| 9月14日 | 予選 | AB (15分間) C (15分間) |
| 9月15日 | 5時間レース | |



～木曜日～ ドライ

セッション開始と共に松本さんがチェックを行って下さいました。しかし、シフト・アクセルペダルのトラブルが発生したため前半セッションはメカニックさんに直して頂く時間となりました。トラブルが出たのが今日で良かったと思います。そして短時間で直して下さったメカニックさんに感謝です。

その後はマシンチェックを行うために計測4周走りました。路面が出来ていない状況ですが、フロントの仕事量が多くもう少しリアが動いて欲しいです。また、フロントのダイブ量が非常に多く、初期のフロントの入りは良いのですが、ロングランを考えるとコーナーミドルから先が辛くなってきそうです。

フロントのプレロードを巻き上げて動きを少なくし、リア車高を上げてもっとリアが動いてくれるようにセットを進めます。

セット変更をしてからまた走行しました。

リアの車高が上がっている分、コーナー入り口でのリアの動きは良かったです。全体的に自分で車を動かすと良い動きになりますが、耐久のロングランを考えるとそれが良いかどうか判断が難しいのでロガーでの研究を行います。

また、最後に焼結ブレーキパッドをテストしました。

僕個人的にはブレーキの限界値がわかりやすく、またマシンのバランスも感じやすかったです。

～金曜日～ ドライ

午前中は昨日からのセットのまま走り出しました。僕は計測3周でのマシンバランスの確認がメインでしたが、気温が低く、昨日よりも良いタイムでした。

その後BドライバーさんがフロントタイヤだけNewタイヤでアタックを行い、バランスチェックをして下さりました。

午後はA・Bドライバーさんがそれぞれ予選アタックシミュレーションを行いました。

シミュレーションが終わった後はBドライバーさんのタイヤを継続で僕が履き、ロングランテストをしました。

ペースもフィーリングも良く、落ち着いて周回を重ねる事が出来ました。

他のドライバーさんからの提案により途中でピットに入り、フロントスタビを1つ硬めを試しました。

ブレーキも少し止まるようになり、またコーナー初期の向きの変わり方は非常に良くなりましたが、ミドルから先のスイートスポットが狭くなったように感じます。少しでも雑な扱いをするとアンダーステアが多く出るようになりました。

決勝はAドライバーさんの選択によりスタビは元に戻して走ります。

土曜日

～ウォームアップ～

朝のウォームアップでは、僕はマシンバランスのチェックのみ行いました。このタイミングではユーズドタイヤでしたがオーバーステアが強く、決勝に向けてはとても良い感覚で行けると感じました。その他の時間はA.Bドライバーさんの予選シミュレーションを行っています。



～予選～

A.Bドライバーさんはフロントニュータイヤ・リアユーズドタイヤでアタックを行いましたが、僕は4輪ともニュータイヤでアタックを行わせて頂きました。

また、リアのアップマウントのアップデートバージョンの確認もこのCドライバー予選で行いました。

結果的にはマシンのフィーリングもアタックもよくクラス1位でチーム内でもトップタイムを出す事が出来て良かったです。しかし、アップデートされたパーツはアクセルオンした時のリアのピッチングが大きく、ロングランでのフロントタイヤの空転に繋がる部分も多いと感じたので今回は使用しないことにしました。

～日曜日～

スタートは松本さんが担当し、7位から3位までポジションを上げて頂きました。順調に周回を重ねて2スティント目は僕が担当しました。アンダーカットが上手く行き1位を走行出来ましたが、気温がレースウィークの中で1番高く、マシンバランスもロングテストを行った時と違い少し苦戦しながらの走行となりました。また、タイヤの労わり方もとても気をつけるポイントでした。クラス2位の車両に20秒強程のリードを築く事が出来ましたが途中でFCY→セーフティーカーの流れでリードはほぼなくなる状態に…

セーフティーカーが少し続いたのでピットインし、Aドライバーさんに交代しました。

その後はFCY・セーフティーカーなども度々あり、順位・展開は目まぐるしく変わっていきます。

残り1時間40分で再び最後のスティントを担当させて頂きましたが、コースに出た時にはクラス3位で、トップ2台はFCY・セーフティーカーなどを上手く利用してほぼ1周遅れの状態となってしまいました。

なんとか表彰台では終わられる様に1時間40分とにかく集中して攻めましたが、残り20分程で抜かれてしまい、4位フィニッシュとなってしまいました。

苦しい中でもアベレージタイムを少し上げる事、クラス違いのマシン処理をもっと上手くなる事が課題となりました…
本当に悔しいです。



まとめ

今回のレースはいつも以上に沢山の事を感じるレースでした。ABドライバーさんは予選タイムがある為に予選シミュレーションを行い、僕は初めて重点的にロングランテストを行わせて頂きました。

また予選に関してはニューパーツのマシンバランスチェックを任せてもらい、このレースウィークで初めてNewタイヤを履きましたがチーム内ベスト、全体で見ても3番手と更には今までの予選の中で1番内容の良い予選が出来ました。

しかし決勝に関しては悔しさがとても大きいです。

4スティント中2スティントを任せて頂き、更には最後は1時間40分とロングスティントでした。5時間レースの中で自分の仕事量が多い事はとても嬉しくありがたい事です。だからこそ表彰台に登りたかったです。

今回の反省点は決勝の部分にも書いた通りプッシュ時のもう少しのタイムアップ・クラス違いのマシン処理なので、これから常に意識して走ります。

今回の結果によりシリーズ争いも非常に僅差です。

最終戦の予選はABドライバーさんに託してポールポジション、僕は決勝でとにかく良い仕事をして勝ちます！勝ってチャンピオンのみを考えて最終戦に臨みます。

今回も応援して下さいありがとうございました。

また次戦も宜しくお願い致します。

